LONG TERM GOOD RELATION

いちよし証券

証券コード：8624

2015年３月期第２四半期
決算説明会資料

2014年11月20日（木）

いちよし証券株式会社

目次

第一部： 決算の状況　2015年3月期第2四半期決算報告（連結）

1. 収支の状況 …… 4
2. 貸借対照表 …… 5
3. 財務の状況 …… 6
4. 純営業収益の内訳 …… 7
5. 受入手数料の内訳 …… 8
6. トレーディング損益 …… 9
7. 販売費・一般管理費の内訳 …… 10

第二部： 新中期経営計画と成長戦略（活動の状況と今後の方向性）

1. 成長戦略 …… 12
2. リテールビジネスの拡大 …… 15
3. 法人ビジネスの伸び …… 24
4. いちよしアセットマネジメントの飛躍 …… 28
5. 人材育成 …… 30
6. コスト構造 …… 31

第三部： コーポレート・ガバナンスと株主利益還元策

1. コーポレート・ガバナンスの取組み …… 33
2. 株主構成の推移 …… 34
3. 株主還元策 …… 35

第一部：決算の状況

2015年3月期第2四半期決算報告（連結）

１．収支の状況

（単位：百万円）

	2014年3月期 2Q累計	2015年3月期 2Q累計	増減率	2014年3月期 通期	2015年3月期 1Q	2015年3月期 2Q
営業収益	13,222	9,845	△25.5%	25,241	5,082	4,763
販売費・一般管理費	8,151	8,191	0.5%	16,365	4,115	4,075
経常利益	5,096	1,689	△66.9%	8,977	992	696
特別利益	1,031	1,159	12.4%	1,088	468	690
特別損失	0	37	ー	43	9	27
法人税、住民税及び事業税	870	819	△5.9%	2,359	206	613
法人税等調整額	1	159	ー	△607	336	△176
純利益	5,255	1,826	△65.2%	8,268	907	919

連結比率 ＝ 86.5：13.5
（営業収益ベース）

① 投資有価証券売却益　950百万円
② 負ののれん発生益（西脇証券）　208百万円

① 金融商品取引責任準備金繰入れ　19百万円
② 固定資産除却損　9百万円

２．貸借対照表

（単位：百万円）

	2014年3月期		2015年3月期	前期末比増減額
	2Q	4Q	2Q	
資産の部				
流　動　資　産	43,323	40,060	43,668	3,608
固　定　資　産	8,481	8,662	7,684	△978
資　産　合　計	51,804	48,723	51,352	2,629
負債の部				
流　動　負　債	19,426	15,033	17,484	2,451
固　定　負　債	1,368	1,426	1,182	△ 244
負　債　合　計	20,794	16,459	18,666	2,207
純資産の部				
純　資　産　合　計	31,009	32,263	32,686	422
負債・純資産合計	51,804	48,723	51,352	2,629

①現金・預金　＋6,040百万円
②信用取引資産　△1,683百万円
③ﾄﾚｰﾃﾞｨﾝｸﾞ商品　△631百万円

投資有価証券　△1,033百万円

①預り金　＋6,147百万円
②未払法人税等　△1,404百万円
③信用取引負債　△1,120百万円
④有価証券担保借入金　△559百万円

繰延税金負債　△342百万円

①利益剰余金　＋675百万円
②自己株式　＋192百万円
③有価証券評価差額金　△616百万円

３．財務の状況

	2014年3月期		2015年3月期	前期末比増減
	2Q	4Q	2Q	(円･%ポイント)
自己資本比率（%）	59.7	66.0	63.3	△2.7
1株当たり純資産（円）	711.58	738.88	743.19	4.31
自己資本規制比率（%）	529.1	575.4	585.3	9.9
1株当たり当期純利益（円）	120.77	190.04	41.94	△148.10
自己資本当期純利益率（ＲＯＥ）（%）	18.0	27.8	5.6	△22.2

４．純営業収益の内訳

(単位:百万円)

	2014年3月期 2Q累計	2015年3月期 2Q累計	増減率	2014年3月期 通期	2015年3月期 1Q	2015年3月期 2Q
受入手数料	12,305	8,982	△27.0%	23,349	4,657	4,324
トレーディング損益	169	99	△41.4%	345	37	61
その他の営業収益	623	637	2.1%	1,297	329	307
金融収支	96	94	△2.6%	199	48	45
合計	13,195	9,813	△25.6%	25,191	5,073	4,739

５．受入手数料の内訳

（単位：百万円）

	2014年3月期 2Q累計	2015年3月期 2Q累計	増減率	2014年3月期 通期	2015年3月期 1Q	2015年3月期 2Q
委託手数料の主な内訳						
株券	5,305	3,022	△43.0%	9,249	1,335	1,686
募集・売出し手数料の主な内訳						
投資信託	4,140	2,771	△33.1%	7,841	1,668	1,103
引受け・売出し手数料の主な内訳						
新規公開	219	314	43.4%	569	276	38
既公開	141	46	△67.5%	539	0	45
計	361	360	△0.1%	1,108	276	84
その他の受入手数料の主な内訳						
投資信託	2,152	2,320	7.8%	4,336	1,133	1,186
投資信託以外	260	380	45.7%	618	179	200
計	2,413	2,700	11.9%	4,954	1,313	1,386
合計	12,305	8,982	△27.0%	23,349	4,657	4,324

（単位：億円）

	2014年3月期2Q累計	2015年3月期 2Q累計	増減率
投信募集額	1,637	1,274	△22.2%
投信残高	7,170	8,171	14.0%

投信募集額上位３銘柄

（単位：億円）

2015年3月期 2Q 累計	
①LM・オーストラリア毎月分配型ファンド	218
②ピクテ新興国インカム株式ファンド	195
③HSBCニューリーダーズ・ソブリン・オープン	156

６．トレーディング損益

(単位:百万円)

	2014年3月期 2Q累計	2015年3月期 2Q累計	増減率	2014年3月期 通期	2015年3月期 1Q	2015年3月期 2Q
株　　券　　等	87	32	△62.6%	200	11	20
債券・為替等	82	66	△18.9%	145	26	40
合　　計	169	99	△41.4%	345	37	61

(単位:億円)

	2014年3月期 2Q累計	2015年3月期 2Q累計	増減率
外債の販売額	12.2	42.5	248.4%

７．販売費・一般管理費の内訳

（単位：百万円）

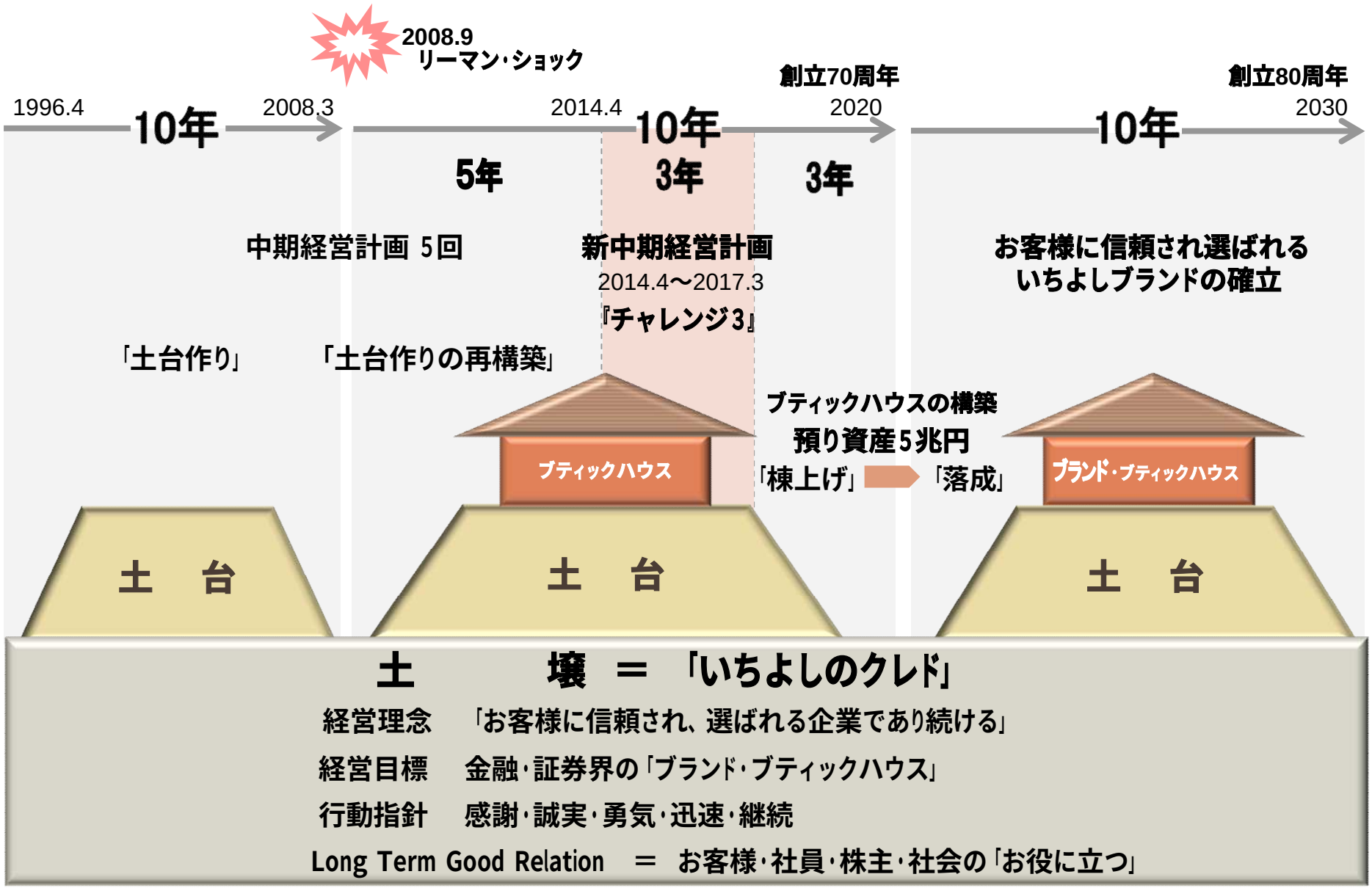
	2014年3月期 2Q累計	2015年3月期 2Q累計	増減率	増減額
取引関係費	776	813	4.8%	37
人件費	4,688	4,439	△5.3%	△248
不動産関係費	751	918	22.2%	166
事務費	1,331	1,397	5.0%	66
減価償却費	172	212	23.1%	39
租税公課	107	90	△15.9%	△17
その他	322	319	△1.0%	△3
合計	8,151	8,191	0.5%	40

- 取引関係費 37
  - ①支払手数料（引受主幹事の幹事団への支払手数料等） ＋41百万円
  - ②旅費交通費 ＋26百万円
  - ③交際費 ＋22百万円
  - ④通信運送費 △39百万円
  - ⑤取引所・協会費 △17百万円
- 人件費 △248
  - ①給料 ＋76百万円
  - ②賞与引当金 △260百万円
  - ③役員報酬 △55百万円
- 不動産関係費 166
  - ①器具備品費（システム関連費用等） ＋139百万円
  - ②不動産費 ＋27百万円
- 事務費 66
  - ①事務用品費（IBS仕入費等） ＋73百万円
  - ②その他 ＋13百万円
- 減価償却費 39
  - 証券本体 ＋39百万円
- 租税公課 △17
  - 事業税の外形標準課税 △21百万円
- その他 △3
  - ①営業資料費 ＋24百万円
  - ②IBS商品仕入れ △38百万円

第二部：新中期経営計画と成長戦略

（活動の状況と今後の方向性）

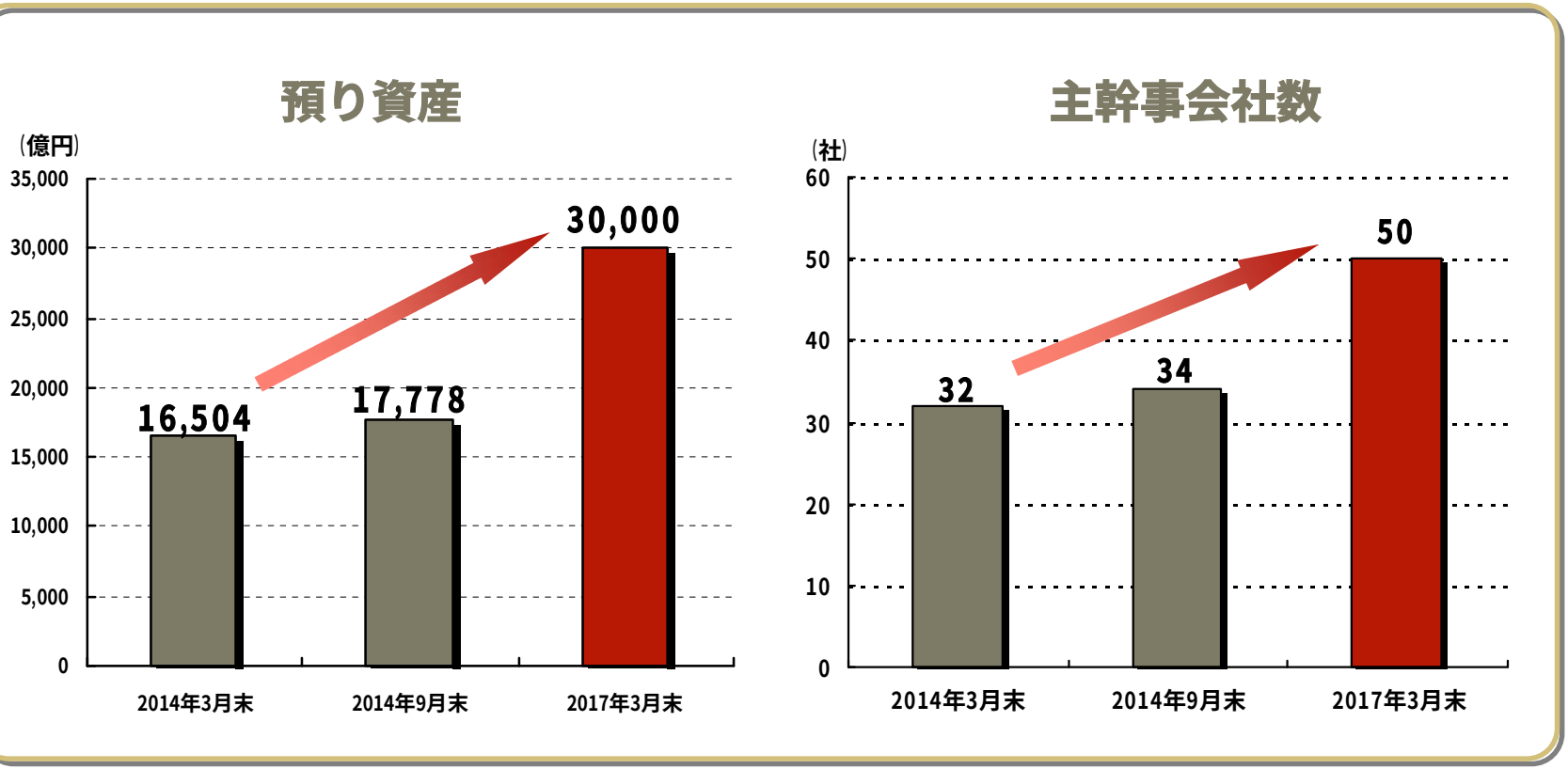
１．成長戦略 『ブランド・ブティックハウス』確立



『チャレンジ３』 数値目標

（計画期間：2014年４月～2017年３月末）

●預り資産　３兆円　●主幹事会社数　５０社　●ＲＯＥ　１５％程度



３．２つの特化戦略

既存のビジネスモデル
- 大規模デパート型（大手証券、大手銀行、銀行系証券）
- ホールセール特化型（外資系投資銀行、外資系証券）
- ディスカウンター型（ネット証券）
- 地方商店型（地方地場証券）

いちよし証券 ― **ブランド・ブティックハウス型**

差別化:
「いちよし」の強みを掘り下げる

２つの特化戦略
- （1）個人富裕層の金融資産運用サービス特化
  ⇒ リテールビジネス
- （2）中小型成長株と中堅企業ニーズ対応サービス特化
  ⇒ 法人ビジネス

４．３兆円までの行程

預り資産数値目標
３兆円

預り資産は、「お客様からの信頼のバロメーター」であり
「いちよしの基礎体力のバロメーター」

- 当社のＤＮＡ（20年来継続してきたことを大きく活かしていく）
- 内部成長　（全社挙げての徹底外交による「お客様層の拡大」で新規資金導入を）
- 外部成長　（過去４年半で６社の地方証券を統合）
- 外部環境　（経済やマーケットの環境を味方にして）

預り資産２兆円
-中堅証券からの脱出-

→

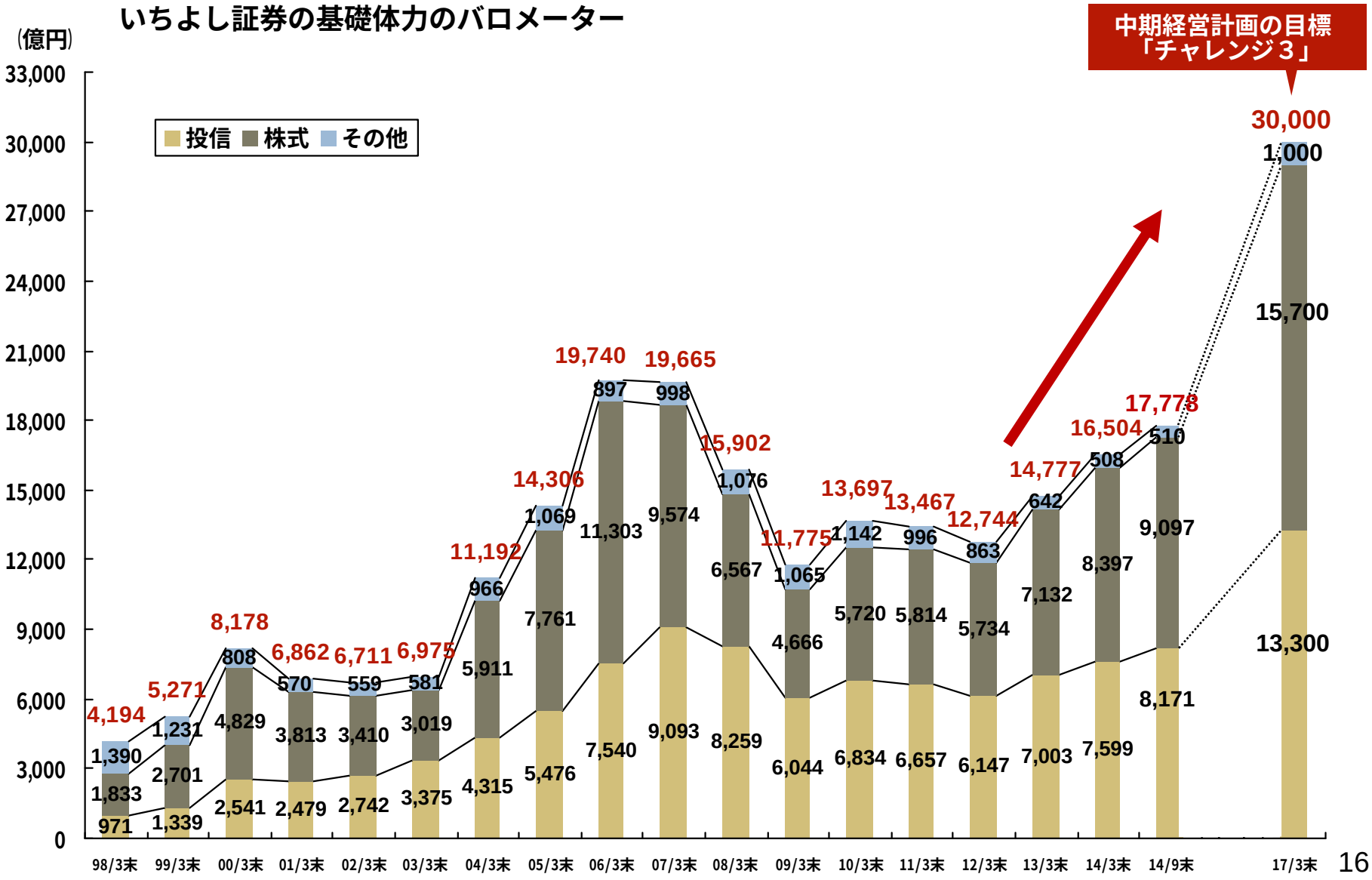
預り資産３兆円
-準大手証券をキャッチアップ-

→

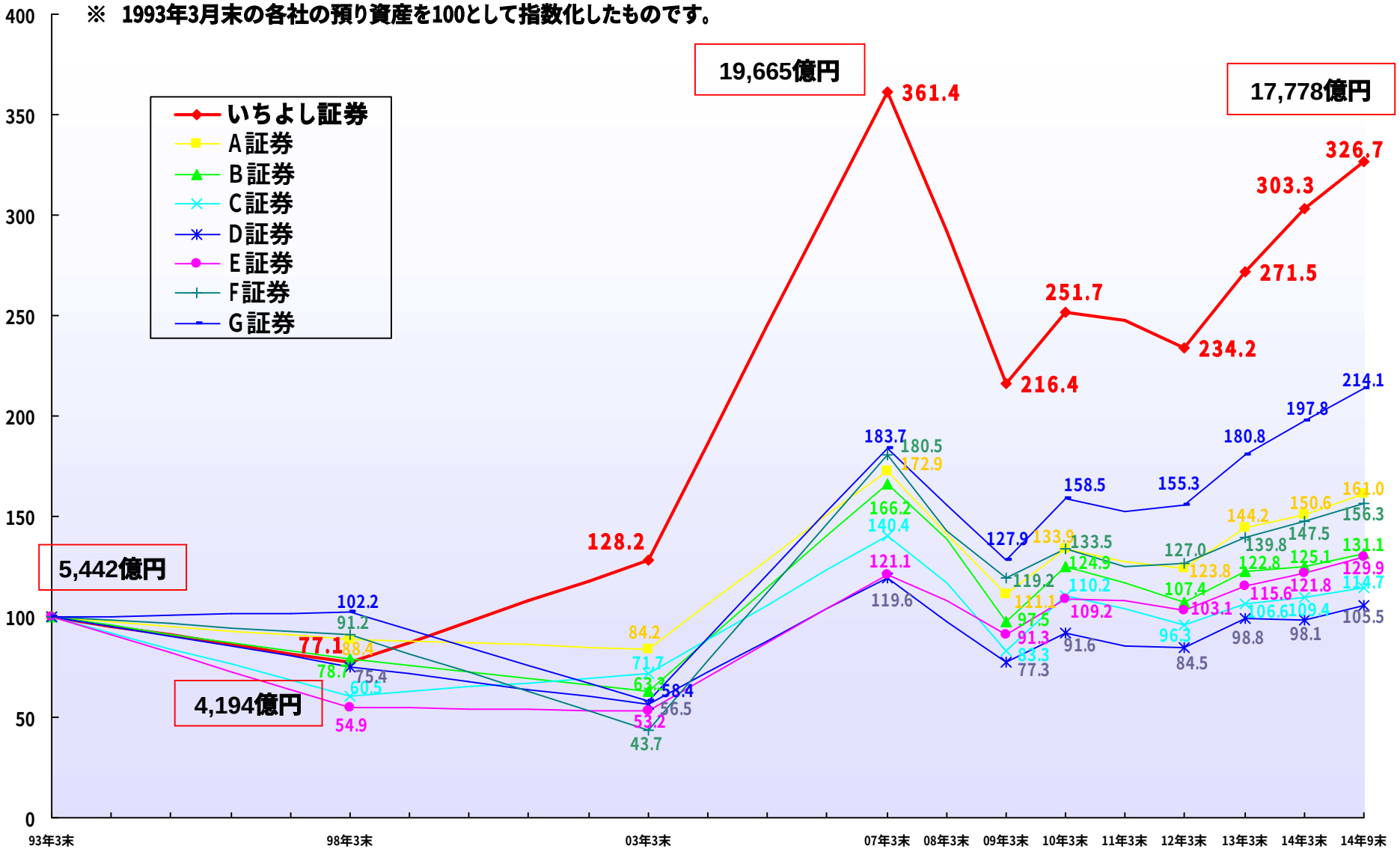
預り資産５兆円
-地銀上位行並みの規模と影響力の実現-

５．営業基盤の拡大 － 預り資産の増大（全体）

預り資産
お客様からの信頼のバロメーター
いちよし証券の基礎体力のバロメーター



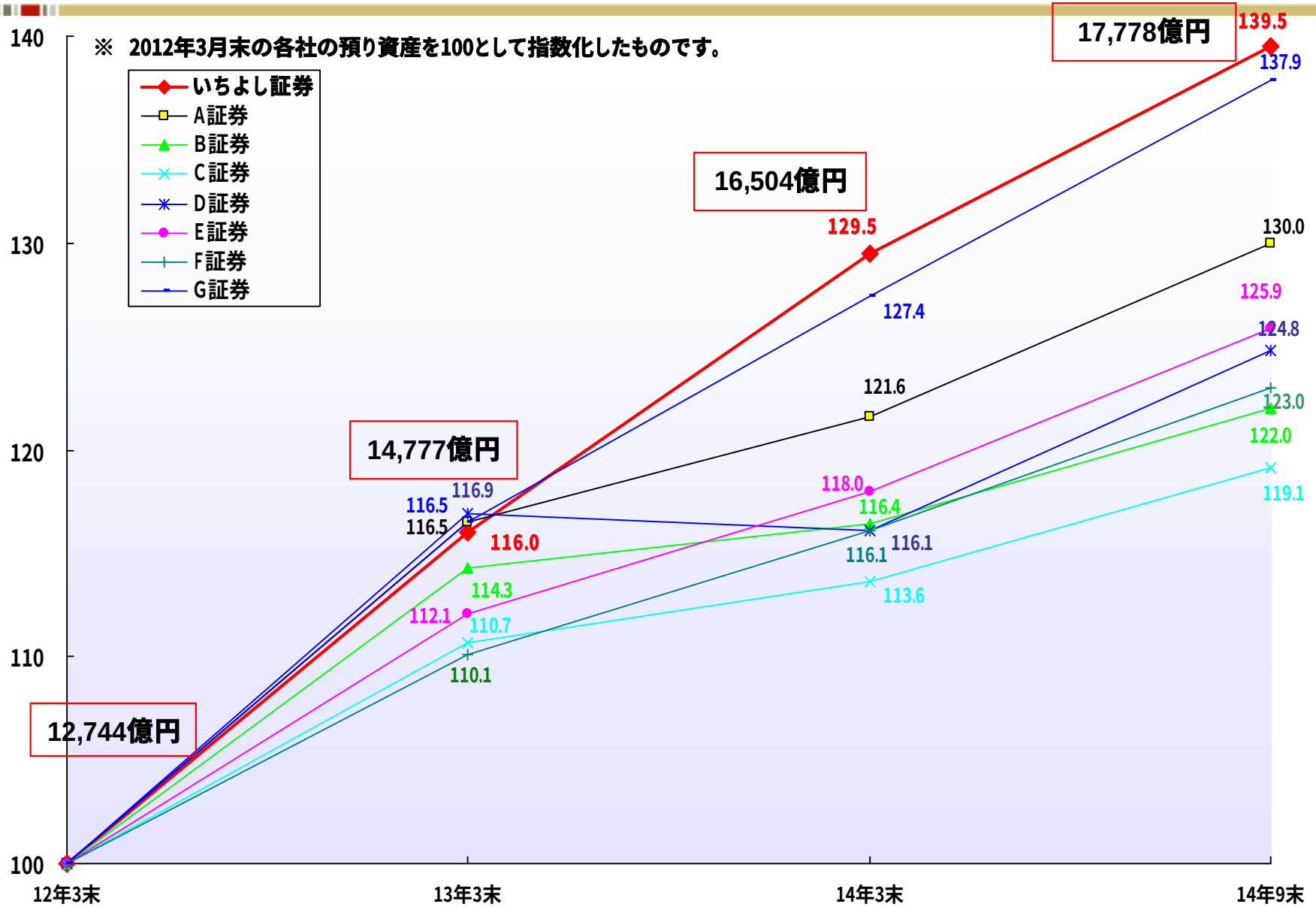
６．いちよしのＤＮＡ ― 預り資産の他社比較



・1993年時点で上場していた証券会社であり、かつ大規模な合併をしていない証券会社。
（専業ネット証券会社を除く、野村證券、大和証券、岡三証券、丸三証券、東洋証券、水戸証券、髙木証券）

・出所：情報誌に掲載された各社の預り資産額を抽出し、いちよし証券が算定。

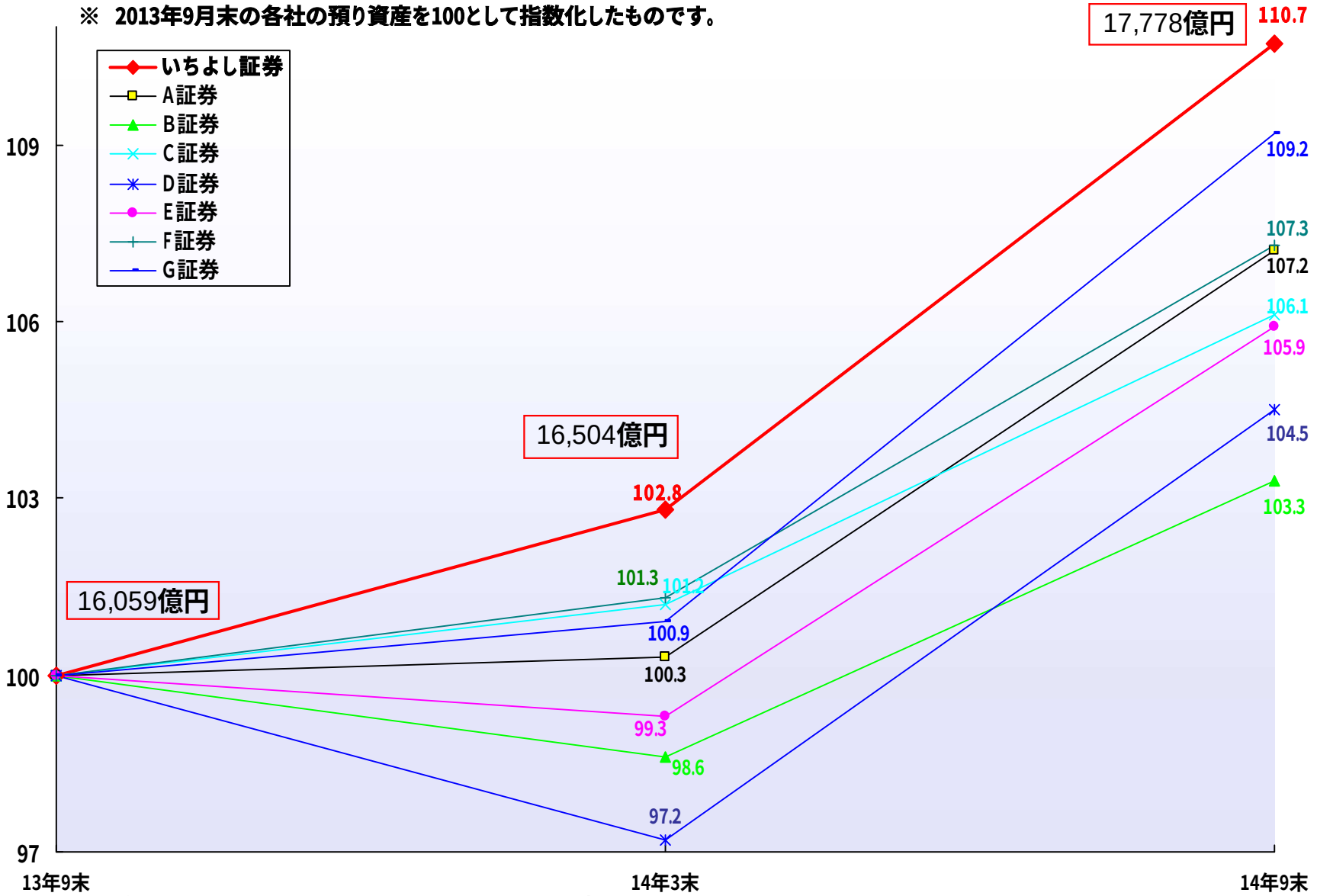
６．いちよしのＤＮＡ ― 預り資産の他社比較



・1993年時点で上場していた証券会社であり、かつ大規模な合併をしていない証券会社。
（専業ネット証券会社を除く、野村證券、大和証券、岡三証券、丸三証券、東洋証券、水戸証券、髙木証券）
・出所：情報誌に掲載された各社の預り資産額を抽出し、いちよし証券が算定。

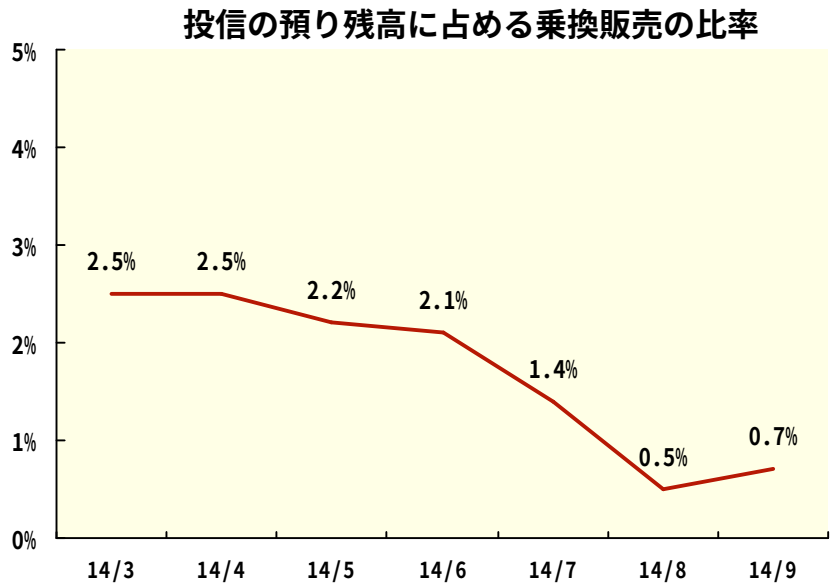
６．いちよしのＤＮＡ ― 預り資産の他社比較

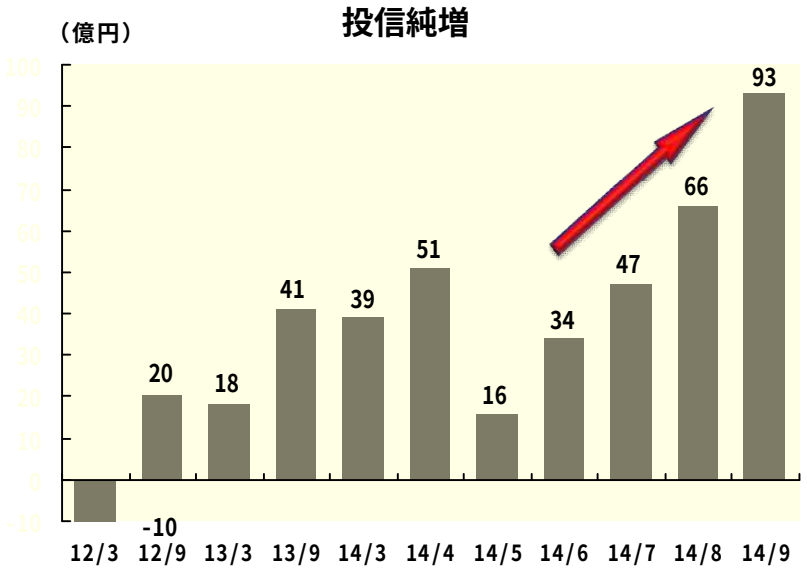
※ 2013年9月末の各社の預り資産を100として指数化したものです。

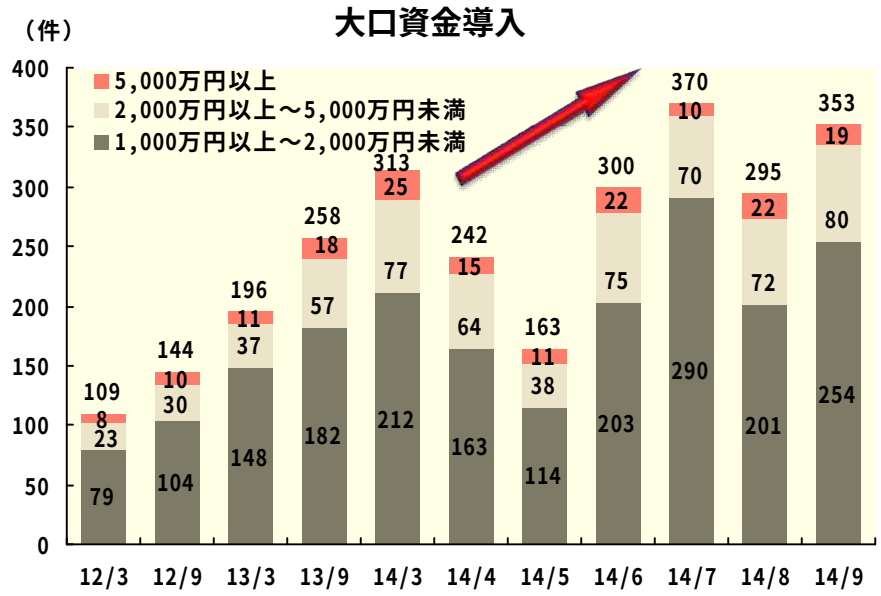


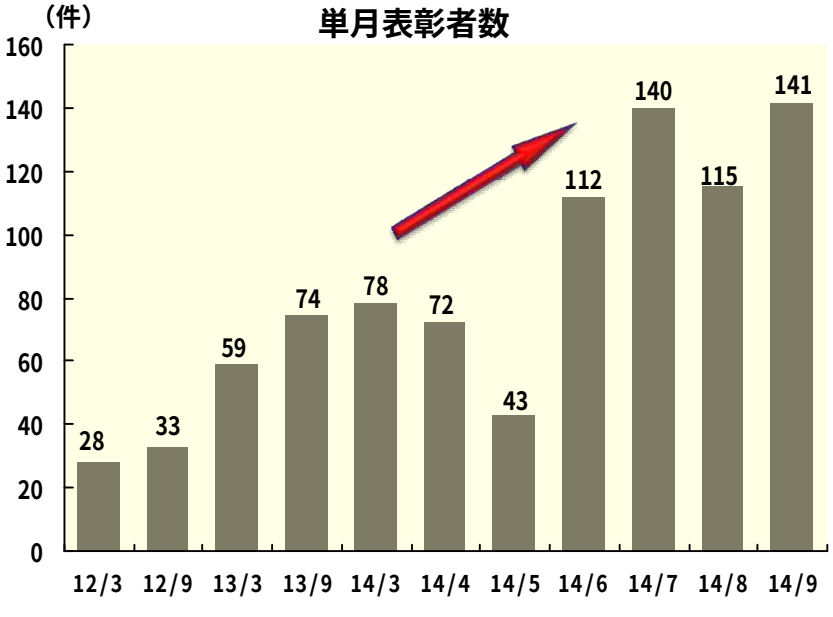
・1993年時点で上場していた証券会社であり、かつ大規模な合併をしていない証券会社。
（専業ネット証券会社を除く、野村證券、大和証券、岡三証券、丸三証券、東洋証券、水戸証券、髙木証券）
・出所：情報誌に掲載された各社の預り資産額を抽出し、いちよし証券が算定。

７．リテール部門　徹底外交の成果の証









８．お客様の拡大　　将来を見据えた店舗網の拡充と成果

2010年から４年半で６社と経営統合

プラネットプラザ ３ヶ所新設

全国５１支店

● 統合６地方証券
環証券（和歌山県）　飯田證券（長野県）
佐世保證券（長崎県）　伊勢証券（三重県）
大北証券（岩手県）　西脇証券（兵庫県）

■ 中部地方６支店

●飯田支店
●駒ヶ根支店
●伊那支店
2010年2月24日 資本参加
2011年1月4日 統合
●伊勢支店
●志摩支店
●久居支店
2012年2月6日 統合

■ 東北地方３支店

●大北盛岡支店
●大北水沢支店
●大北一関支店
2010年10月28日 資本参加
2013年3月4日 統合

■ 西脇証券２支店

●本店 ⇒（西脇支店）
●加西営業所 ⇒（加西支店）
2014年12月1日 統合予定




■ 関東地方３ヶ所

●プラネットプラザ中野
●プラネットプラザ小田原
●プラネットプラザ向ヶ丘





■ 九州地方３支店

●佐世保支店
●諫早支店
●唐津支店
2011年1月4日 統合

■ 近畿地方２支店

●環支店
●環串本支店
2010年4月12日 統合

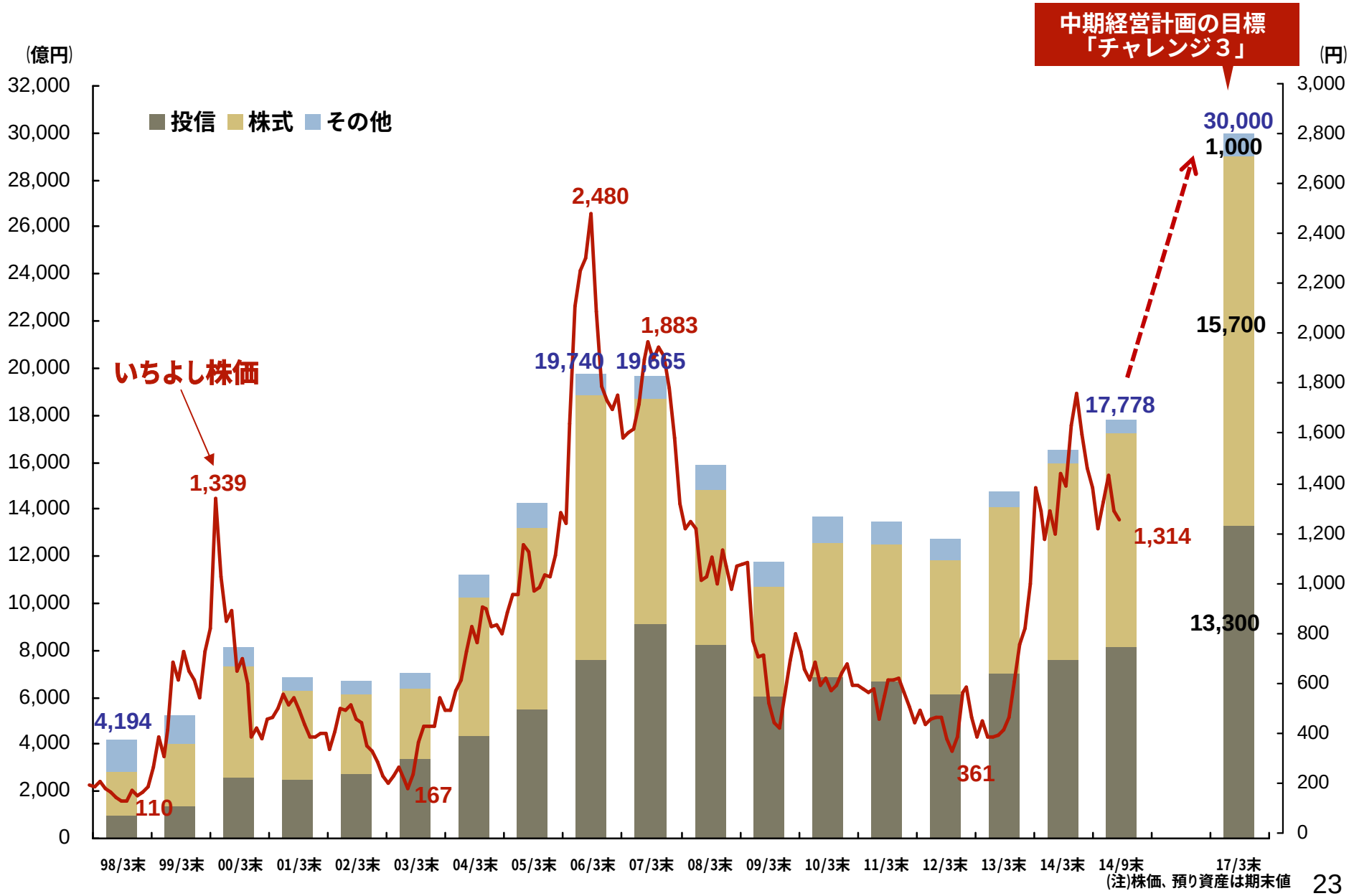
８．お客様層の拡大　　将来を見据えた店舗網の拡充と成果

統合の成果

	2014年3月	2014年4月	2014年5月	2014年6月	2014年7月	2014年8月	2014年9月
リテール総収入	1,395百万円	1,277百万円	1,179百万円	1,517百万円	1,356百万円	1,150百万円	1,225百万円
うち 統合した地方証券	137百万円	126百万円	122百万円	169百万円	155百万円	140百万円	166百万円
リテール総収入に占める統合した地方証券の割合	9.8%	9.9%	10.4%	11.1%	11.5%	12.2%	**13.5%**
リテール預り資産	13,969億円	13,768億円	14,014億円	14,491億円	14,687億円	14,754億円	14,930億円
うち 統合した地方証券	1,432億円	1,402億円	1,438億円	1,508億円	1,536億円	1,545億円	1,581億円
リテール預り資産に占める統合した地方証券の割合	10.3%	10.2%	10.3%	10.4%	10.5%	10.5%	**10.6%**

※統合した地方証券は、旧環証券･旧飯田證券･旧佐世保證券･旧伊勢証券･旧大北証券の合算。

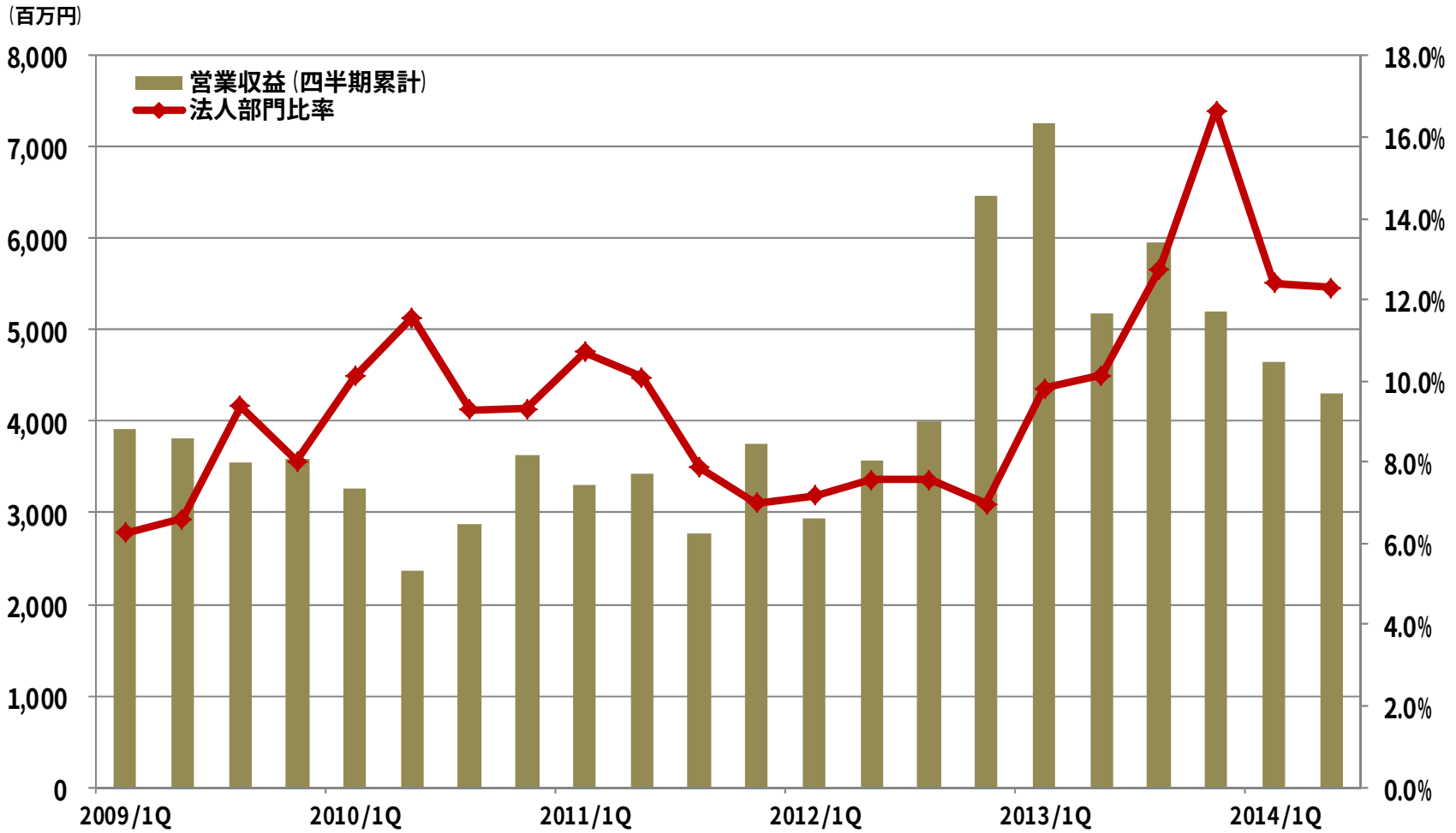
９．営業基盤の拡大 ― 預り資産と株価の推移



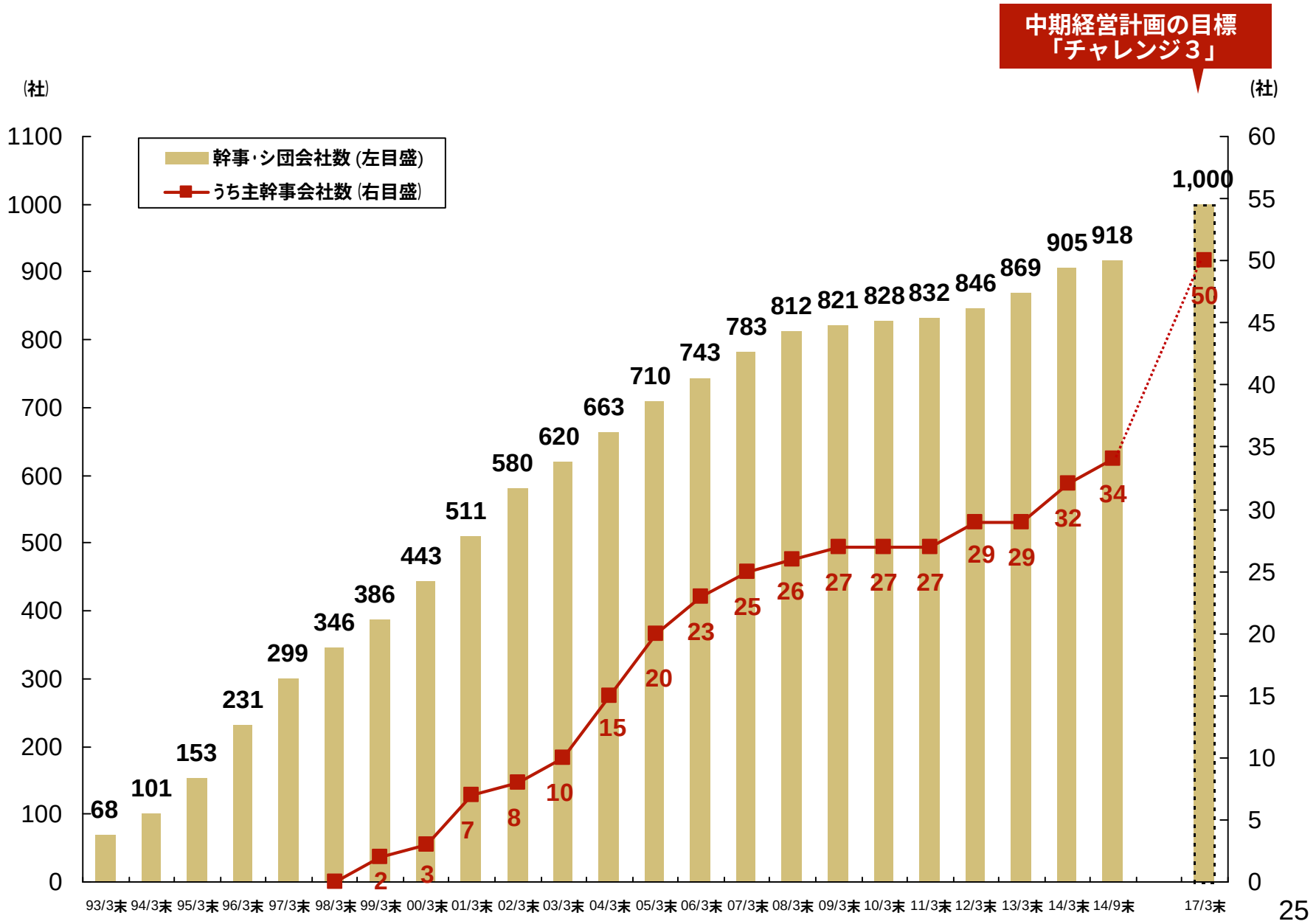
(注)株価、預り資産は期末値

10．法人ビジネス

全収益に占める法人部門の比率



11．法人ビジネス － 主幹事会社数目標



12．ファイナンス実績 － ＩＰＯランキング

リーグテーブル主幹事ＩＰＯ（金額・件数）

2014年4月1日～2014年9月30日

順位	証券会社名	金額（億円）	（件数）
1	野村證券	469	（11件）
2	みずほ証券	296	（3件）
3	三菱ＵＦＪﾓﾙｶﾞﾝ・ｽﾀﾝﾚｰ証券	291	（3件）
4	大和証券	199	（7件）
5	ＵＢＳ証券	96	（1件）
6	**いちよし証券**	**36**	**（1件）**
7	ＳＢＩ証券	17	（2件）
8	ﾒﾘﾙﾘﾝﾁ日本証券	13	（1件）
9	東洋証券	5	（1件）
10	東海東京証券	3	（1件）

ＩＰＯ引受実績（引受金額・件数）

2014年4月1日～2014年9月30日

順位	証券会社名	金額（億円）	（件数）
1	野村證券	490	（18件）
2	三菱ＵＦＪﾓﾙｶﾞﾝ・ｽﾀﾝﾚｰ証券	263	（8件）
3	みずほ証券	236	（18件）
4	大和証券	229	（15件）
5	ＳＭＢＣ日興証券	59	（14件）
6	ＳＢＩ証券	31	（22社）
7	**いちよし証券**	**30**	**（13件）**
8	ﾒﾘﾙﾘﾝﾁ日本証券	27	（1件）
9	ＵＢＳ証券	17	（1件）
10	ﾏﾈｯｸｽ証券	10	（14件）

（リーグテーブル 出所：SDC Platinum）

12．ファイナンス実績 － 引受金額他社比較

ＩＰＯ引受額

2014年1月～2014年12月（予定分含む）

	いちよし証券	岡三証券	東海東京証券	SMBCﾌﾚﾝﾄﾞ証券	丸三証券	岩井ｺｽﾓ証券	東洋証券
引受額（百万円）	4,364	3,872	3,175	532	130	328	638
参入率	52%	43%	26%	24%	13%	30%	13%

ＰＯ引受額

2014年1月～2014年12月（予定分含む）

	いちよし証券	岡三証券	東海東京証券	SMBCﾌﾚﾝﾄﾞ証券	丸三証券	岩井ｺｽﾓ証券	東洋証券
引受額（百万円）	8,268	6,657	4,417	345	1,806	114	822

（実績、参入率ともにいちよし証券調べ）

13．いちよしアセットマネジメントの飛躍

・中小型成長株のアクティブ運用に特化しているいちよしアセットマネジメント。
・今年1月に投資一任、投資助言に加えて、投資信託委託業務を登録。
・４月からの私募投信の設定に続き、はじめての公募投信を設定（11月17日より募集開始）。

■ 運用資産残高

（単位：億円）

	2013年3月末	2014年9月末
 日本中小型成長株アクティブ・ファンド（愛称：ニッポンの翼）	―	296
 日本復活成長株ファンド（愛称：ニッポンの輝）	―	250
 東日本復興応援株式ファンド（愛称：ニッポンの絆）	138	92
 いちよし・インベスコ中小型成長株オープン	62	45
 いちよし公開ベンチャー・ファンド	14	15
 いちよしグロース1	16	14
合　計	244	765

■ 公募投信の設定

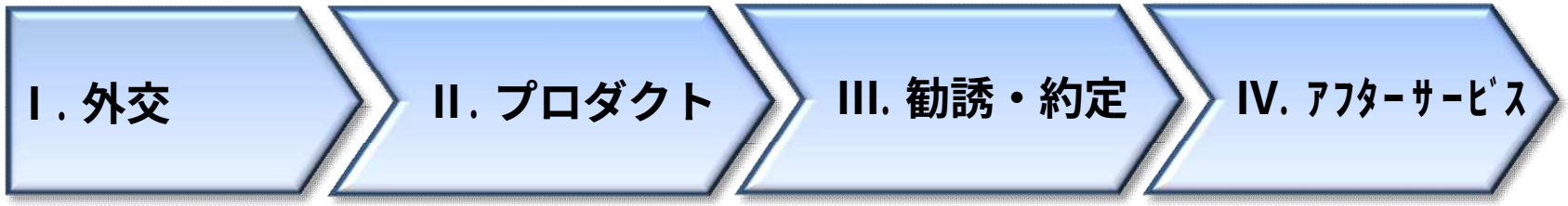


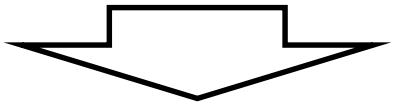
・いちよしアセットマネジメントとしてはじめての公募投信「いちよしインフラ関連成長株ファンド（愛称：ジャパンインフラ）」の募集を11月17日より開始（12月5日設定予定）。
・今後の新たな国づくりに貢献することが期待される企業の株式に実質的に投資することにより日本再興の一翼を担い、社会貢献を目指すとともに信託財産の積極的な成長を目指す。

14．競争の源泉は「アドバイス力」

いちよし証券の強み（付加価値）は『アドバイス活動』

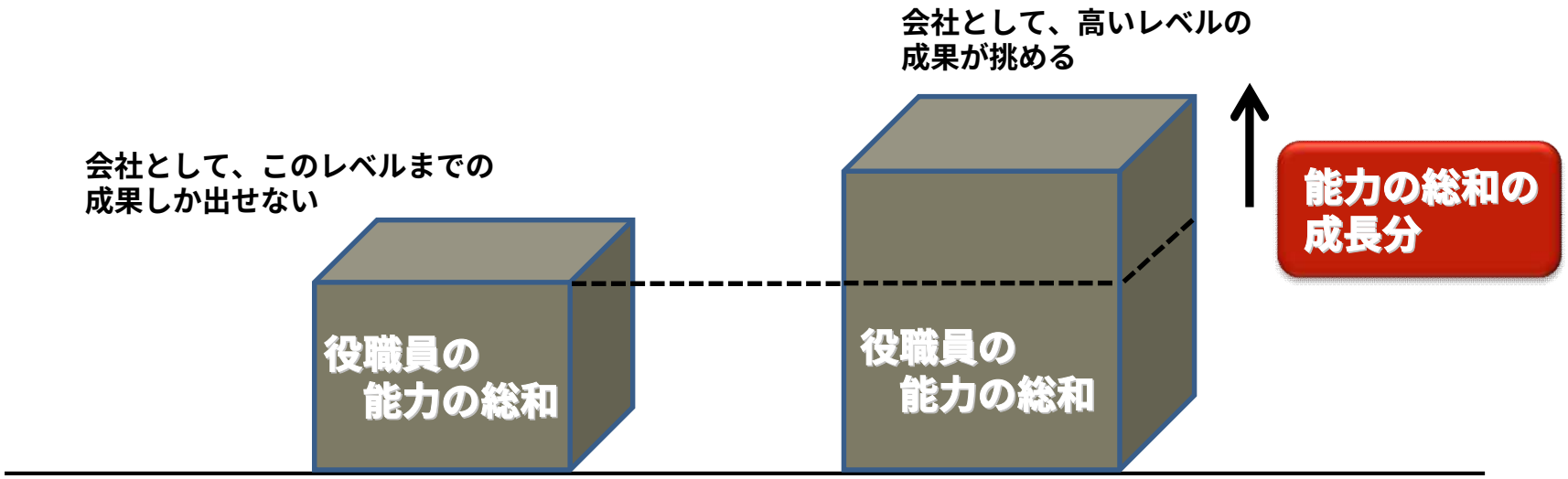
【アドバイス活動の流れ】





- 上記の各項目にかかわる活動を徹底的にフォーカス
- 会社全体が「外交する会社」
- 次の外交に活かすための“支店開拓会議”“本部開拓会議”
- オペレーション部門のアウトソーシング化

15．人材育成策



具体的施策

● **アドバイザーの知識研修**

FPの認定機関に登録。90年代からアドバイザーにAFPの資格取得を義務づけており、現在AFPは450名。資格更新研修を活用した実践向けの研修体系。

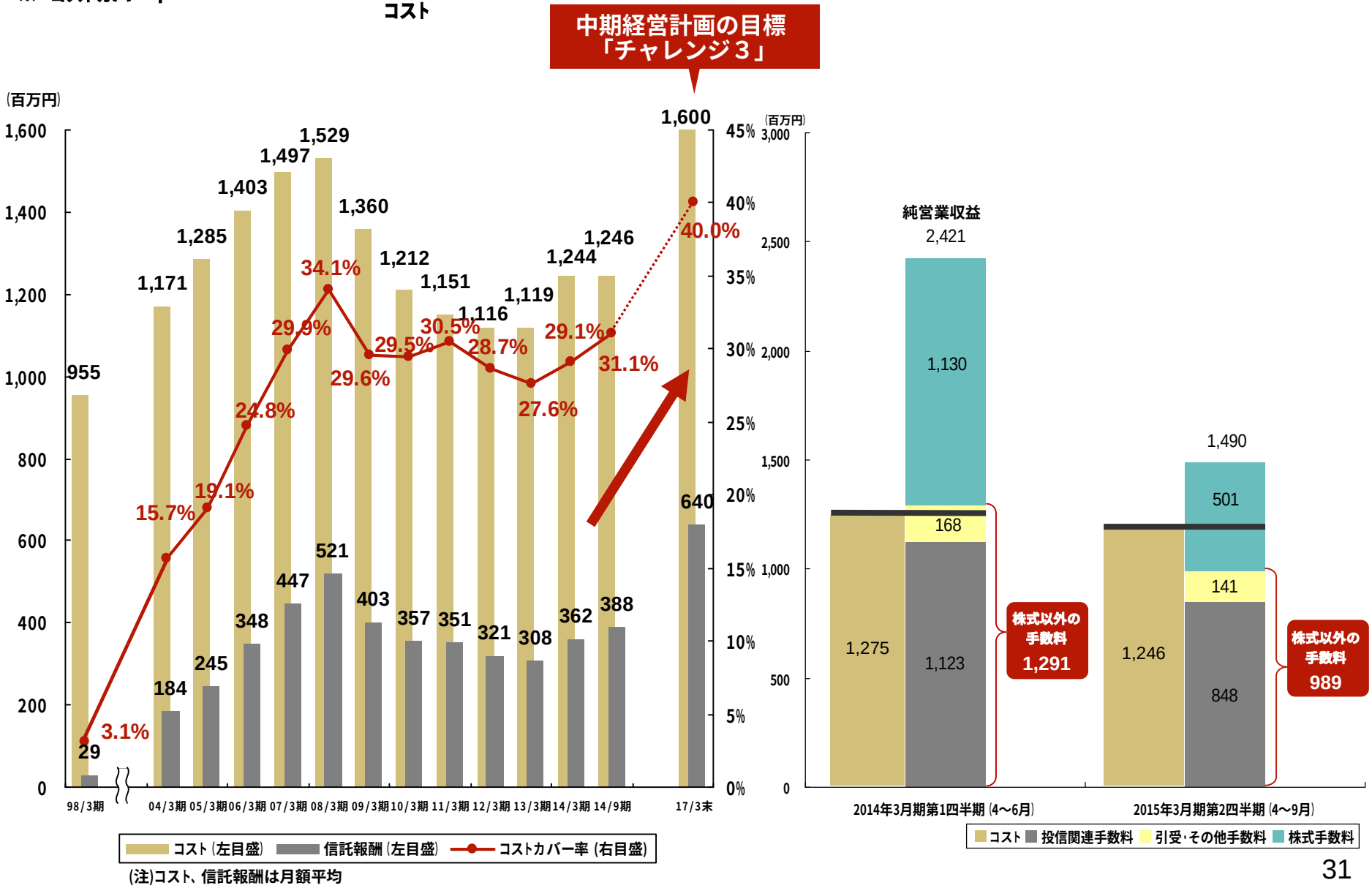
金融資産運用設計	不動産運用設計	ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ・ﾘﾀｲｱﾒﾝﾄﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ	リスクと保険	タックスプランニング	相続･事業承継設計

● **自己成長プログラム**

スキルアップとして証券アナリストや中小企業診断士などの公的資格にチャレンジできるように取得費の補助や報奨金を取得できる制度。現在まで、88名がこの制度を活用し、自己成長にチャレンジ。

16．コスト構造

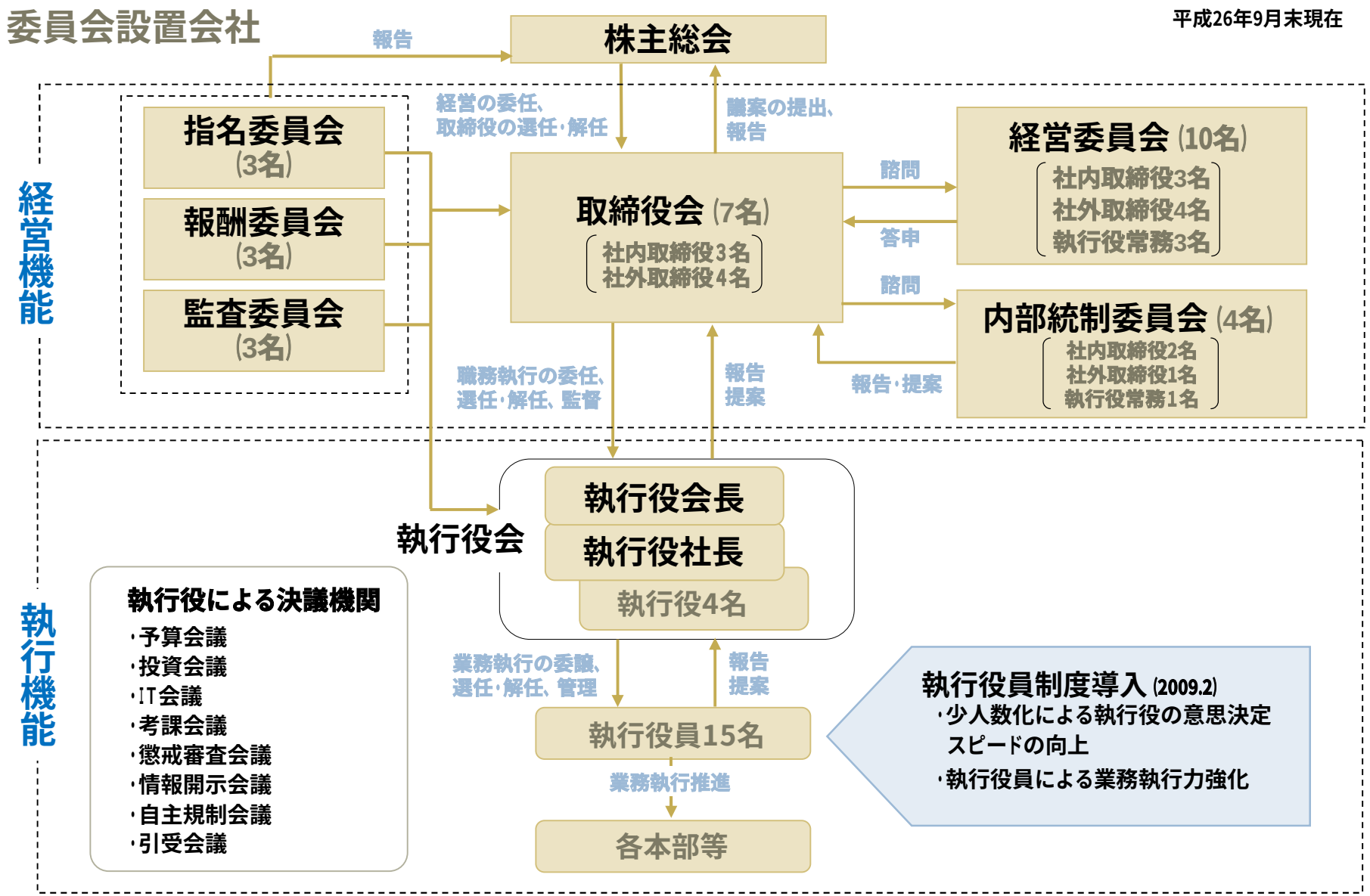
※ コストカバー率 ＝ （信託報酬 ＋ ラップアカウントの口座管理料） ／ コスト



(注)コスト、信託報酬は月額平均

第三部：コーポレート・ガバナンスと株主利益還元策

１．コーポレート・ガバナンスの取組み



2． 株主構成の推移

1997年3月末現在

	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1	野村証券	2,928	5.00
2	三和銀行	2,928	5.00
3	大和銀行	2,928	5.00
4	東京三菱銀行	1,989	3.40
5	日本長期信用銀行	1,724	2.94
6	野村土地建物	1,550	2.65
7	住友銀行	1,308	2.23
8	東洋信託銀行	1,191	2.03
9	野村総合研究所	1,100	1.88
10	一吉証券従業員持株会	935	1.60
	合　計	18,585	31.72

銀行

2014年9月末現在

	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1	野村土地建物	5,298	12.10
2	NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT (常任代理人　香港上海銀行東京支店)	3,430	7.83
3	日本トラスティ・サービス信託銀行 (信託口)	1,368	3.12
4	RBC ISB A/C DUB NON RESIDENT TREATY RATE (常任代理人　シティバンク銀行)	1,200	2.74
5	ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505223 (常任代理人　みずほ銀行決済営業部)	1,096	2.50
6	日本マスタートラスト信託銀行 (信託口)	943	2.15
7	野村総合研究所	879	2.01
8	ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505103 (常任代理人　みずほ銀行決済営業部)	656	1.49
9	ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント (常任代理人　ゴールドマン・サックス証券)	613	1.40
10	みずほ証券	533	1.21
	合　計	16,019	36.60

(注) 持株比率は自己株式 (667,516株) を控除して算出しております。

外国人

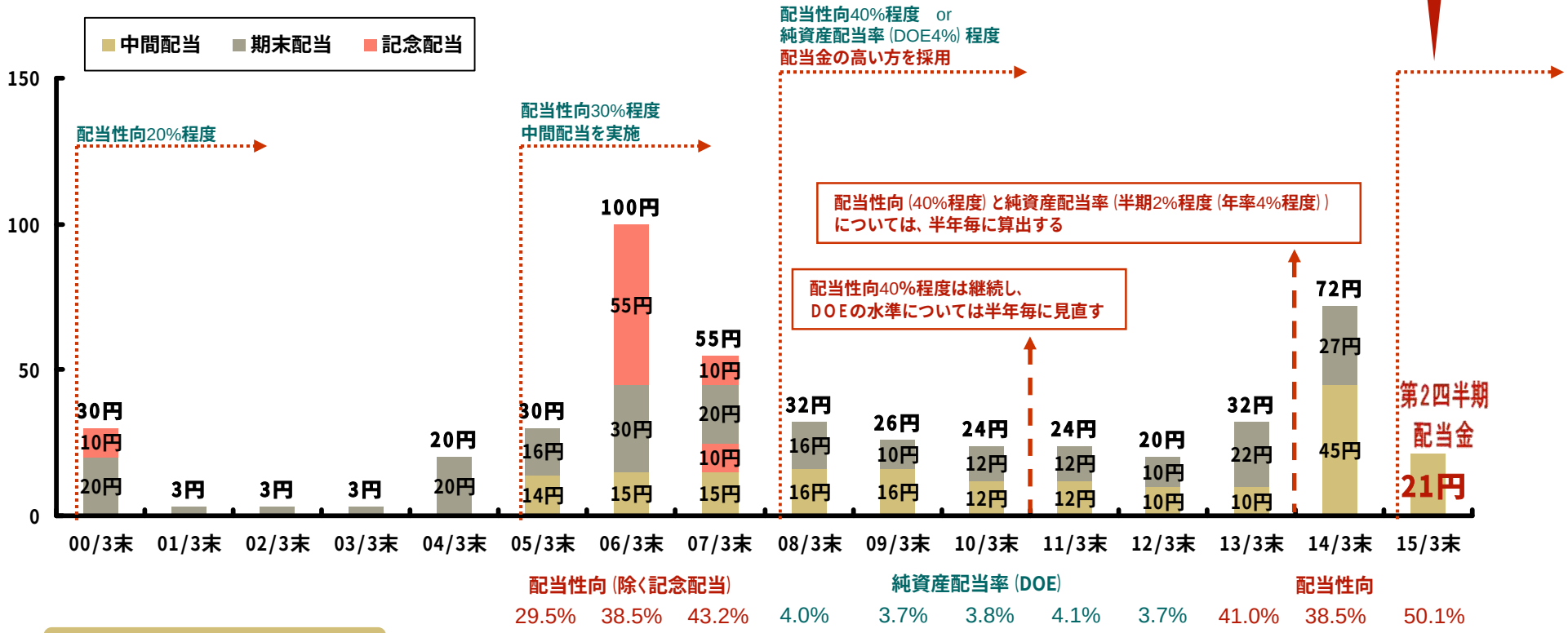
	1997年3月末	2014年3月末	2014年9月末
個　人	35.1 (株主数　6,461名)	37.5 (株主数　14,058名)	37.9 (株主数　13,789名)
外　国　人	11.4	27.2	30.3
信　託　銀　行	4.3	15.5	11.5
	(総株主数　6,894名)	(総株主数　14,438名)	(総株主数　14,150名)

３．株主還元策

配当状況

配当額・配当性向等の推移（１株当たり）

連結配当性向50%程度　or
連結純資産配当率（DOE）
（半期2%程度（年率4%程度））
配当金の高い方を採用



自己株式の消却

				消却率
1998年9月～2004年1月	自社株買い／消却	11,841,000株	@264.55円	20.2%
2008年1月～3月	自社株買い／消却	1,699,200株	@1,032.31円	3.5%
2008年11月～2009年1月	自社株買い／消却	1,957,500株	@673.03円	4.2%
	合計	15,497,700株		合計　27.9%

（参考）
2014年9月末発行済株式数　44,431,386株
（うち自己株式　667,516株）

問い合わせ先

いちよし証券株式会社　広報室

TEL：03-3555-6343　FAX：03-3555-2165
http://www.ichiyoshi.co.jp

この資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更することもあります。
この資料は2014年9月30日現在のデータに基づき作成しております。

商号等　：いちよし証券株式会社 金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第24号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

2014年11月作成